

2016年7月11日



**Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A**  
 Treasury Department  
 Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
 São Paulo, SP – 01310-925

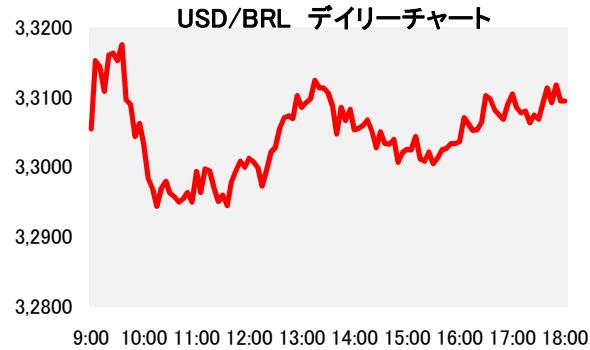
## 1. マーケット・レート

			7月5日	7月6日	7月7日	7月8日	7月11日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.3030	3.3300	3.3670	3.3000	3.3090	+0.0090
	BRL/JPY	Spot	30.80	30.43	29.93	30.47	31.06	+0.59
	EUR/USD	Spot	1.1074	1.1100	1.1063	1.1051	1.1058	+0.0007
	USD/JPY	Spot	101.74	101.32	100.78	100.54	102.79	+2.25
金利	Brazil DI Future	6MTH(p.a.) 1Year(p.a.)	13.871 13.253	13.876 13.282	13.903 13.307	13.863 13.195	13.841 13.193	-0.022 -0.003
	On-shore USD	6MTH(p.a.) 1Year(p.a.)	2.454 2.653	2.562 2.693	2.370 2.600	2.307 2.527	2.228 2.439	-0.079 -0.088
株式	Bovespa指數	51842	51902	52015	53141	53960	819	
CDS	CDS Brazil 5y	320.23	318.99	322.18	309.17	305.78	-3.39	
商品	CRB指數	189.660	189.956	185.702	187.173	186.707	-0.47	

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

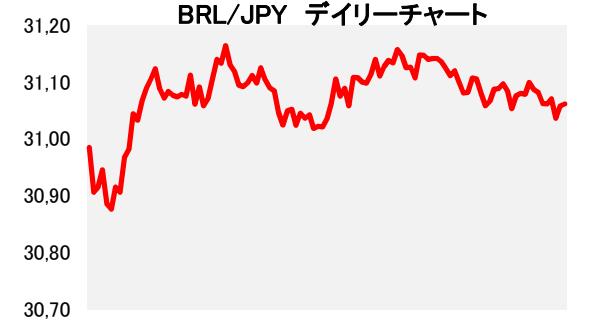
## 2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
IGP-M Inflation 1st Preview	0.97%	0.55%	1.12%
貿易収支(週次)	--	\$1488m	\$525m
(米)労働市場情勢指数	-1.2	-1.9	-3.6



## 3. 要人コメント

なし	
----	--



## 4. トピックス

- 本日のリアルは3.2970で寄り付いた後、伯中銀によるドル買い介入が実施されると一気に日中の安値となる3.3190まで下落した。しかし海外では先週末の良好な米雇用統計の結果や、本邦参院選で与党が勝利し、安倍首相が更なる経済対策を実施する方針を示したこと等から、リスク資産買いが広がると、リアルも徐々に買い戻された。正午前には本日の高値となる3.2930まで反発した後、3.3000近辺で小幅に推移、結局3.3090でクローズした。
- ボベスパ指数はリスクオンムードにつられて、エネルギー銘柄を中心に大きく買われる展開となり、4日連続での上昇となった。
- 本日発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、2016年の経済成長率予想が-3.35%から-3.30%に上方修正、2017年予想は+1.00%に据え置かれた。また、2016年のインフレ率予想は7.27%から7.26%に小幅ながら下方修正、2016年末の予想為替レートは3.46から3.40へリアル高方向に修正された。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に応対することを意図していません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の領布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しております。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関する際には、すべて、お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は、著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布することはできません。